

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あんあんclass南平岸ルーム			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 22日		～	令和8年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 4日		～	令和8年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちが日々楽しく来所したり、来所する事を楽しみにしてくれている	・様々な活動や定期的にイベント開催等、楽しめる療育活動の立案	・保護者や子どもたちのニーズや希望に合わせた、活動の展開
2	・相談が合った際に、迅速に対応してくれている	・ノートや送迎時だけでなく、電話相談や面談等を行い、直接相談を受ける体制作り	・もっと気軽に相談をする事の出来る環境や体制作り
3	・インスタを活用した情報発信	・インスタでの流行をリサーチし、子どもたちの成長を楽しみながら見れる工夫	・動画配信など、個人情報の取り扱いに十分に留意した形での情報発信

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・帰り送迎時に児童の様子をしっかりと伝えられていない	・送迎に入る職員によっては児童の様子がわからない事がある	・送迎前に必ず送迎をする児童の様子を担当職員から確認して保護者に伝える
2	・幼稚園や保育園との交流が殆どない	・交流する機会が殆どない為、交流を深める事が難しい	・幼稚園や保育園の情報を収集し、交流出来る機会があれば積極的に交流しに行く。
3	・防犯や感染症予防等のマニュアルが保護者にはあまり周知されていない	・契約時には説明しているが、それ以降に周知したり説明する機会がなかった	・インスタやおたより等で定期的に発信をしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あんあんclass南平岸ルーム

公表日 令和8年 2月 1日

利用児童数

1名

回収数

1名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		1				・お子様への十分な理解より専門性の高い支援を提供出来るように今後も職員一同で努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。			1			・地域のとの交流の機会が無く、一緒に活動する事が難しい状況ですが、引き続き情報を収集し、交流の機会を持てるように努めています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年 2月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	4		・パーティション等でスペースを区切る等、個室スペースを増やせると良い
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	3		・配置基準は満たしているが、日によっては個別の対応が難しい日があるので、余裕のある配置が出来るようになってほしい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		・特定の子に合わせて、過ごしやすいように環境設定をしていると思う	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9			・建物の老朽化が気になる
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・児童の様子に合わせて、必要に応じて個室スペースで支援を提供している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		・ミーティング時に行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・定期的に行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・ミーティング自に行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	・施設チェックや模擬監査を行っている	・施設チェックや内部監査等を行っている事が周知されていないので、周知するように徹底する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・定期的に行っている	・定期的に行っているが、パート職員の参加が難しい事が多い
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・HPにて公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・作成されていると思う	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・アセスメントを行う等、他の職員も携わる部分がある	・検討する時間の確保が難しい時がある
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			・内容の共有が担当と児発管だけになってしまいう事がある
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・共通のアセスメントシートを活用している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・作成されていると思う	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・アイデアが出ない際は、相談に乗ってくれる。	・個人で考えがちになるので、打ち合わせをする機会を設けても良いと思う
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・様々な活動をみんなが考えて取り組んでいると思う	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・行っていると思う	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・支援前に一日の流れの確認はしている	・役割分担までは確認出来ていないので、改めて朝の打ち合わせの体制作りを行っていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・振り返りは行っている	・振り返りを行うのが一部の職員になりがちなので、振り返り内容をノートに記載するなどして、共有出来るようにしていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・徹底していると思う	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		・児発管が参加している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	5		・交流や連携の機会が少なく、難しい
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・就学に向けた放課後等デイサービスへの移行は出来ている	・学校等との連携は機会が無く難しい
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	5	・児童によっては過去に行っていた	・今年度はまだ行う事が出来ていない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	5		・学校とは機会がなくあまり連携が取れていない
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3		・出来ている所と出来ていない所があった
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		9		・学校を卒業する年齢まで通所している児童がいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	7		・機会が無く出来ていない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6		・幼稚園や保育園との交流の機会が中々持てず、難しい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・ノートや送迎時にこどもの様子を伝えられていると思う	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・茶話会等で行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時に説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・作成前に必ず設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			・送迎時に渡す事が多く、送迎職員によっては上手く説明出来ないで渡してしまう事がある
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・必要に応じて、面談や電話相談等の対応が出来ている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9		・親子レクや親子参加型のイベントや運動会等を開催している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・迅速に対応していると思う	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		・主にブログやインスタで発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・十分に注意して取り扱っている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・配慮していると思う	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		・地域住民を呼ぶにはルームが狭い為、開催が難しい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・定期的に行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・確認し、周知している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・行われている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		・周知している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・ミーティング時に共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・定期的に行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		・了承を得た上で作成している	